

◆端切発生時の伝票入力、在庫 概要

表1の商品で売上入力した場合の伝票入力処理と、在庫の流れをまとめる。

表1

品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	単価(円)
A	5	2	1万

開始在庫残高(t)

A	A'	A''
100	10	0

例1) 商品Aを 5m×2本納品し、売上も商品A5m×2本で計上した場合。 端材落、端材入なし

100-20

納品書、在庫計算

伝区	品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	数量(本)	売上重量(t)	在庫重量(t)	売上金額(円)
掛売上	A	5	2	2	20	20	20万

A	A'	A''
80	10	0

例2) 商品A 3m×1本納品で、売上は商品A 5m×1本とし、加工後4tの端材入が発生した場合。

80-10

納品書

在庫計算

在庫計算

伝区	品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	数量(本)	売上重量(t)	在庫重量(t)	売上金額(円)
納売上	A	5	2	1	10	0	6万
在庫落	A	5	2	1	0	10	0
端材入	A'	2	2	1	0	4	0

A	A'	A''
70	10	0
70	14	0

端材が発生した場合は端材入を選択し、A'として在庫を増やす。
※商品登録されていない場合は端材を新たな商品として登録する。

10+2

例3) 商品A' 2m×1本の納品で、売上は商品A 5m×1本の場合。 端材入なし

納品書

在庫計算

伝区	品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	数量(本)	売上重量(t)	在庫重量(t)	売上金額(円)
納売上	A	5	2	1	10	0	10万
在庫落	A'	2	2	1	0	4	0

A	A'	A''
70	10	0

※納品書、売上明細書などの売上実績には1行目の明細が反映され、在庫には2行目の明細が反映される。

14-4

例4) 商品A' 2m×1本の納品で、売上は商品A 5m×1本とし、商品A' を加工後1tの端切れが発生した場合。

納品書

在庫計算

在庫計算

伝区	品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	数量(本)	売上重量(t)	在庫重量(t)	売上金額(円)
納売上	A	5	2	1	10	0	10万
在庫落	A'	2	2	1	0	4	0
端材入	A''	0.5	2	1	0	1	0

A	A'	A''
70	6	0
70	6	1

10-4

例5) 商品A' 2m×1本の納品で、売上も商品A' で計上、商品A' を加工後1tの端切れが発生した場合。

納品書、在庫計算

在庫計算

伝区	品名	単位長さ(m)	単位重量(t)	数量(本)	売上重量(t)	在庫重量(t)	売上金額(円)
納売上	A'	1	2	1	4	0	4万
在庫落	A'	2	2	1	0	4	0
端材入	A''	1	2	1	0	2	0

A	A'	A''
70	2	0
70	2	2

6-4

伝区が、【納売上】は納品書に出力し、(売掛金)XXX / (売上)XXX の仕訳が作られる。在庫無関係。

【在庫落】は納品書には印字しない、仕訳も発生しない。在庫を減らす

【端切入、在庫落】は在庫更新するが、納品書に出力しない。仕訳も発生しない